

授業科目	情報処理演習				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NT10513J		
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	相良 かおる							
授業概要	<p>この授業では、Microsoft Office を使った演習を通して、社会および家庭での情報通信技術の活用について学びます。具体的に本授業で扱うテーマは、「地域の名産(食材&食品)」、「サイバー事件」、「ネット依存」、「ジェンダー統計」、「マクロとVBA」、「生活と経済」です。</p> <p>なお、授業最初には男女共同参画社会基本法を教材にタイピング練習を行います。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会および家庭における情報活用について紹介することができる。 2. インターネットを利用する上での危険とマナーについて説明できる。 3. 対象と目的に沿った分かり易いリーフレットおよびレポートが作成できる。 4. 公開されている統計資料を適切に読み解き、加工することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	0	0	40	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	20				10		30	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20				20	5	45	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)	10					5	15	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					10		10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
行動目標全てを達成し、かつこれらを応用することができる。				行動目標全てを達成している。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	授業計画の説明とフォルダの整理 情報を得るためのツール 情報活用(個人)			講義・演習				

	Excel:ハイパーリンクを使ったポートフォリオの作成			
2	タイピング:男女共同参画社会基本法 情報活用(健康・栄養分野) 情報検索 & Word:食材と地産地消	講義・演習		適宜
3	タイピング:男女共同参画社会基本法 情報活用(地域) Word:特産食材・食品の宣伝用ビラの作成	講義・演習		適宜
4	タイピング:男女共同参画社会基本法 情報危機管理 Excel:サイバー事件の統計資料の加工とレポートの 作成	講義・演習		適宜
5	タイピング:男女共同参画社会基本法 プログラミング(マクロ機能) Excel:集計表の作成	演習		適宜
6	タイピング:男女共同参画社会基本法 プログラミング(VBA) Excel:成績表の作成	演習	応用課題:電卓の作成	適宜
7	講義:メディア・リテラシー 情報検索:ジェンダーとメディア Word:ジェンダーとメディアに関するレポート作成	演習		適宜
8	講義:ソーシャルメディアの活用 情報検索:メディア依存 Word:メディア依存に関するリーフレットの作成	講義・演習	リーフレットの提出期限に間に 合うように適宜、演習を進めて 下さい。	適宜
9	リーフレットの作成	演習	リーフレットの提出期限に間に 合うように適宜、演習を進めて 下さい。	適宜
10	リーフレットの印刷と品評 Excel:日本の女性と男性に関する統計資料の加と分 析	演習	レポートの提出期限に間に合 うように適宜、演習を進めて下 さい。	適宜
11	タイピング:男女共同参画社会基本法 日本の女性と男性に関する統計資料の分析とレポ ート作成	講義・演習	レポートの提出期限に間に合 うように適宜、演習を進めて下 さい。	適宜
12	講義:情報化社会(電子商取引、電子マネー、ユニバ ーサルデザイン、身体への影響) Excel:家計管理・消費・利息計算	講義・演習		適宜
13	Excel:家計管理・消費・利息計算	講義・演習		適宜
14	復習(インターネット事件) 確認テスト(筆記)、解説			
15	復習(国境なきインターネット) 確認テスト(実技)、解説			
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	情報処理基礎で学ぶ内容を前提に授業を進めます。			
テキスト	情報処理【第3版】サイエンス社 適宜資料を配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	厚生労働省統計資料： http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/ 警視庁 サイバー事件簿： http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/jiken/kenkyo/jiken.htm 国立女性教育会館 出版物・報告書： http://www.nwec.jp/jp/publish/			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	納得いかないこと、分からないところは、積極的に質問して下さい。 また、自分で調べて学ぶ努力をし、学んだこと得た情報を周りの人達に積極的に教えて下さい。			
達成度評価に関するコメント	第14回目の授業では、筆記の確認テスト(評価割合30%)を、第15回目の授業では実技の確認テスト(評価割合20%)を行います。また、有意義な質問等の授業貢献度を評価します(その他10%)。 確認テストでは、テキスト、ノートの持ち込みを許可しますので、調べやすいノートやテキストになるよう工夫し、学習方法を身に付けて下さい。			